

IAUD Newsletter vol.6 第1号 (2013年4月上旬号) 目次

1. 2012年度IAUD成果報告会&定例セミナー開催速報・・・・・・・・・・・・・1
2. 手話用語SWG寄稿文「ノーマライゼーション障害者の福祉」に掲載・・7
3. IAUDアワード2013応募受付中・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
4. IAUD4月後半予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

2012年度の振り返りと今年度の活動にむけて 特集:2012年度IAUD成果報告会&第2回定例セミナー開催速報

2012年度の研究部会・委員会活動の締めくくりとして「2012年度IAUD成果報告会」と、「第2回定例セミナー」が3月26日(火)、富士通トラステッド・クラウド・スクエアセミナールーム(東京・浜松町)で同時開催されました。

当日は会員や自治体関係者、メディア関係者など約150人が参加し、大盛況のうちに終了しました。

今年度最初のNewsletterは、「2012年度IAUD成果報告会&第2回定例セミナー」の速報として、写真を中心にお伝えします。



満席となった会場

※詳細な開催報告は追ってHP及び4月下旬発行のNewsletterに掲載いたします。

UDに関する政府の取り組みを理解 ～第2回定例セミナー



司会の白石理事

まずは各省庁や自治体関係者を講師にお迎えし、UDに関する政策や課題などについてお話いただく「第2回定例セミナー」が行われました。

司会の白石高士理事から、会場で展開されている情報保障の紹介がありました。今回は日本語手話通訳を特定非営利活動法人江戸川手話通訳者協会様に、また音声を瞬時に入力し会場正面のスクリーンに表示するパソコン文字通訳は、ユビキタス様にご協力いただきました。

■定例セミナー 開会の辞：岡本一雄評議員会議長

岡本議長は「本日のセミナーが皆様にとって、UDに関する政府の取り組みを理解するとともに、各分野で課題となっている諸問題について会員の皆様と研究討論を行い、IAUDの活動促進に寄与してほしい」。また、「今後も定例セミナーを継続して開催することにより、今まで以上に国や自治体との関係の発展の一步となることを祈念する」と述べました。



岡本議長

■講演「通貨制度（幣制）とUD」:

渡部晶氏（内閣官房行政改革推進本部事務局参事官/前財務省理財局国庫課長）



ご登壇いただいた渡部氏

今回の講演は渡部晶氏にご登壇いただき、「通貨制度（幣制）とUD」をテーマにお話ししていただきました。渡部氏には、日本の通貨制度の運用状況について、またUDの視点から、「すべての人が使いやすい通貨」を目指して紙幣や貨幣にどのような配慮が施されているかについても、具体的にご紹介していただきました。



講演に聞き入る参加者



渡部氏（写真右）と会場内の情報保障

今年1月に開催された第1回定例セミナーと同様、会場は満席となり、会員の皆様の国や自治体の動きや協働についての関心の高さが伺えました。参加者は熱心に聞き入っており、講演後には活発な質疑応答も行われました。

※「定例セミナー」の講演概要は次号のNewsletterに掲載予定です。

※1月9日に開催された「第1回定例セミナー」の開催報告は[こちら](#)をご覧ください。

※「第3回定例セミナー」は6月開催の予定です。詳細は追ってHPでお知らせいたします。

研究部会・委員会活動の締めくくり～2012年度 IAUD 成果報告会

つづいて、14時15分からは2012年度の研究部会と委員会活動の活動成果を報告する「2012年度 IAUD 成果報告会」が行われました。

冒頭では昨年6月6日に薨去されましたIAUD総裁の故寛仁親王殿下への哀悼の意を表して、黙祷が捧げられました。

その後、ワークショップ委員会、協同事業検討委員会および研究部会から各PJ/WGの活動報告、さらに昨秋に開催された「第4回国際UD会議 2012in 福岡」の報告など、2012度を実施された重要な取り組みや新しい取り組みが報告されました。



故寛仁親王殿下へ哀悼の意を表し黙祷



伊久副議長

■成果報告会 開会の辞：伊久哲夫評議員会副議長

伊久副議長は「本日は各委員会や研究部会の日頃の活動や国際会議の成果を中心としたご報告とともに、2012年度からスタートしたIAUDの新たな活動に向けた思いを、会員の皆様にお伝えし、共有したい」と述べました。

■ワークショップ委員会の活動報告：牧野克己委員長、荒井利春教授

牧野委員長より、48時間デザインマラソンの概要および2012年10月に開催した「48時間デザインマラソン in 福岡」の開催報告がありました。

さらに、48時間デザインマラソンの監修者である金沢美術工芸大学の荒井教授より、ワークショップの展望と期待についてお話しいただきました。



牧野委員長

荒井教授

■協同事業検討委員会の活動報告：日谷潔委員、細山雅一委員



日谷委員

細山委員

日谷委員から、2012年8月から12月にかけて、福岡市立照葉小学校（福岡市アイランドシティ）の生徒を対象に実施した「照葉UDワークショップ」の全体報告がありました。さらに細山委員から、IAUDの資産である情報とネットワークを活かしたおかげで、効果的なワークショップを開催できたとのお話がありました。

■研究部会から各 PJ/WG の活動報告

概要説明：古田晴子副部長



古田副部長

2012 年度の研究部会の基本テーマは「ユーザー(生活者)に繋がる活動で、研究部会の貢献とメンバーのやりがい向上」であり、さらに活動方針については、

- ① 研究テーマ&サービスの実現化(商品化/事業化/出版)推進
- ② 「第4回国際 UD 会議 2012in 福岡」での研究部会の活動の確実な発信で、UD 発展に貢献
- ③ 各メンバーの活発な活動のための運営改善・組織整備との説明がありました。

その後、7つのプロジェクトと1つのワーキンググループを、3つのゾーン「暮らしの基本」「暮らしの支え」「暮らしのゆとり」に分類し、順番に発表がありました。

～暮らしの基本～



伊豆野主査

衣の UDPJ：伊豆野隆信主査

2011 年春から続けている災害時の衣料の研究と、その延長上の災害用 UD ジャケットの開発、さらに「第4回国際 UD 会議 2012in 福岡」では、災害用 UD ジャケットを発表しました。

また、UD とは何かをわかりやすく解説したパンフレットを作成しました。

食の UDPJ：鈴木温子副主査

「やけど注意ピクトグラム」の普及推進活動について、ピクトグラムの採用実態を把握・整理し、採用事例をホームページに掲載しました。

さらに、「生活者の食生活意識調査」として 2012 年度には『「単身者」の食生活の実態及び意識について』の WEB 調査を実施し、その結果報告がありました。



鈴木副主査



小泉主査

住空間 PJ：小泉しをり主査

活動テーマ「UD プラス」の考え方の説明の後、2012 年度の大きな活動となった「東日本大震災における仮設住宅調査」の報告があり、仮設住宅に関する事例収集結果や、被災地で実施したヒアリングからの分析結果を紹介しました。

～暮らしの支え～



内山主査

移動空間 PJ : 内山和也主査

活動テーマ「シームレスモビリティへの提言」に関し、これまで調査結果をもとに改善案を作成・提案してきた経緯や、現在議論している調査シートのアプリ化の検討、および調査結果を広く情報公開するための仕組みづくりについて説明がありました。

また、「IAUD プロモーションムービー」の試写が行われました。

このムービーは IAUD の認知度向上と、UD の更なる普及を目指したもので、移動空間 PJ を中心に全 PJ が連携し、代々木アニメーション学院様のご協力のもと制作されたものです。

ムービーは今後、Web で一般公開予定です。



IAUD プロモーションムービー



山川氏

労働環境 PJ : 山川八寿樹氏

場所や時間にとらわれないユニバーサルな働き方であるテレワークのうち、在宅勤務を中心に研究しており、テレワーク意識調査として、WEB 調査の実施やテレワーク利用者へのインタビュー、ワークショップなどを開催し、その分析結果を報告しました。

標準化研究 WG : 志田知章主査

UD マトリックス Web 版・事例集の見直しと内容の充実のため、各 PJ へ事例提供の協力を依頼したほか、WG での提供事例検証および編集を行いました。

さらに、震災後に求められる UD 標準化の活動として、現地での非常持ち出し品の有用性に関する調査および非常持ち出し品の使い易さワークショップを開催しました。

また、2012 年度より新たに発足した「手話用語サブワーキンググループ」の活動説明がありました。



志田主査

～暮らしのゆとり～



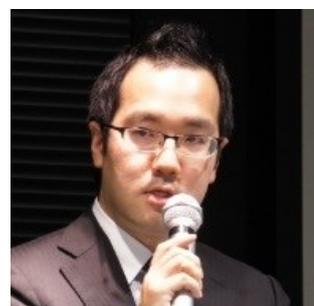
土屋氏

余暇の UDPJ : 土屋亮介氏

活動テーマ「テレビCMにも字幕を」に関して、これまでの活動経緯の説明があったほか、2012年度に実施した字幕トライアル企業との情報交換会の報告がありました。最後に、企業の方にCMに字幕を付ける検討のお願いと、一般の方には、機会があるごとにCMへの字幕をつけることを要望してほしい、とのお願いがありました。

メディアの UDPJ : 池澤努氏

研究テーマ「カラーUD 配色イメージ・スケール」に関して、3色配色を追加したカラーUD 配色イメージ・スケール〈第1版〉を策定し、デザインの可能性を広げました。2つ目のテーマ「カラーUD グラデーション」に関しては、色分けによる区別がより明確になるよう、グラデーションを完成させました。さらに、気象庁の「気象情報の配色に関する設計指針」策定に協力しました。



池澤氏

■「第4回国際UD会議2012in福岡」報告： 小島文代理事長／国際会議実行委員長



小島理事長

国際会議の開催概要の説明とともに、「世界22の国や地域から延べ約11,400名がご来場され、大変盛況でした」「総裁・故寛仁親王殿下のご次女である瑠子女王殿下には開会式にご臨席いただき、また展示会も熱心にご観覧いただいたことは、関係者にとって大きな励みとなりました」「グローバルコミットメントの調印や、海外からの来場者から、自国でUD活動するための具体的な方法についてアドバイスを求められるなど、活動の広がりを実感しました」との報告がありました。

■閉会の辞：小島文代理事長

最後に、小島理事長からの閉会の辞ですべてのプログラムが終了しました。小島理事長は「今回の成果報告会が、これまでの活動に対する大きな自信、さらには今後の展開につながってほしい。課題についてはしっかり総括を行い、2013年度に繋げたい」と締めくくりました。



閉会の辞を述べる小島理事長

■交流会

すべてのプログラム終了後には交流会が行われ、多くの会員が参加して親交を深めました。



交流会の様子

■PJ/WGのパネル展示

会場には各PJ/WGの活動紹介を示したパネルや成果物が展示され、休憩時間には参加者が熱心に鑑賞していました。



PJ/WGのパネル展示

※成果報告会の詳細なレポートは追ってHPに掲載いたします。

手話用語 SWG 寄稿文 雑誌「ノーマライゼーション 障害者の福祉」に掲載

公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会が発刊している「ノーマライゼーション 障害者の福祉」2013年3月号に、手話用語 SWG の寄稿文「誰もがいきいきと暮らせる社会を目指した手話化活動」が掲載されました。

IAUD に関してや、手話用語 SWG を立ち上げるに至った経緯や取り組み等が紹介されています。掲載誌は IAUD サロンでも閲覧可能です。

IAUD アワード 2013 応募受付中！

「IAUD アワード 2013」は、「まちづくりやものづくり、仕組みづくり等、持続可能な共生社会の実現に向けた革新的な UD 活動や提案したものを」審査対象とし、UD において一定のレベルを満たしていると審査委員会が判断したのに対して「IAUD アワード」を授与します。

授与された対象には、「IAUD アワード」マークの使用が許され、UD の普及啓発のために活用することができます。

また、「IAUD アワード大賞」や IAUD 総裁「特別賞」「大臣賞」等を予定しています。第 1 次審査応募締め切りは 5 月 31 日（金）です。



IAUD アワード 2012 表彰式（福岡市）

※応募希望の方、また詳細は [こちら](#) をご覧ください。

4 月後半の予定



月	火	水	木	金	土	日
15	16	17 15:00～ 運営委員会 (IAUD サロン)	18 13:30～ 移動空間 PJ (IAUD サロン)	19 13:30～ 余暇の UDPJ (IAUD サロン) 14:00～ 労働環境 PJ (カタリスト BA)	20	21
22	23	24	25	26 13:30～ 標準化 WG (IAUD サロン)	27	28
29 昭和の日	30					

Newsletter は会員の皆さまの UD に関わる情報交換の場です。ぜひ会員企業の UD 商品開発事例や PJ/WG の活動成果事例、また国内外の UD 関連イベントやシンポジウム等の開催情報をお寄せ下さい。

次号は 4 月下旬発行予定

特集：第 2 回定例セミナー 開催報告第 2 弾 講演概要紹介（予定）

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター（IAUD サロン）：
電話：03-5541-5846 FAX：03-5541-5847 e-mail：salon@iaud.net